

館山市の 家計簿

～ 平成27年度 当初予算版 ～

「館山市の財政は、どうなっているの？」
「厳しい！って聞くけど大丈夫！？」

市民の皆さまの疑問に答えるため、日々のくらしに深くかかわる市の財政状況を、家計に例えて、できるだけ分かりやすく説明します。



市民の皆さまへ

この『館山市の家計簿』は、平成22年度当初予算から、多くの市民の皆さまに「館山市の財政状況」や「税金の使い方」について理解を深めてもらいたいという思いから作成し、おかげさまで、多くの皆さまにお読みいただき、普段なじみの薄い市の財政について、ご理解を頂いてきたところです。

平成26年度から平成27年度にかけて、市政運営の基本指針となる「新総合計画」の策定作業を進めており、今後の「まちづくりの目標」「新たな市の将来像」を描くためにも、市民の皆さまとの対話を重ね、市政の情報を共有することが何よりも大切なことだと思っています。

皆さまと、館山の将来のことを共に考えるため、この『館山市の家計簿』がその一助となれば幸いです。

平成27年4月

館山市長 金丸 謙一



予算の仕組み、種類や金額	3 P ~
予算を家計に例えると	15 P ~
市の借金・貯金、各種財政指標	16 P ~
平成27年度に取組む主な事業と費用	25 P ~

1 予算とは？ どうやって決めるの？

基礎知識編

❓ 予算とは何ですか？

- ㊤ 館山市に1年間（4月～3月）に入ってくる収入の見積りと、その使い道を表すものです。



❓ 予算は、どうやって決めていくの？

- ㊤ 市長は、予算案をつくり市議会へ提出し、市議会の審議と議決により予算が成立します。

[予算作成スケジュール]

【9月】 市長は、各部署へ予算編成方針

（来年度の行政サービスの方向性）を指示

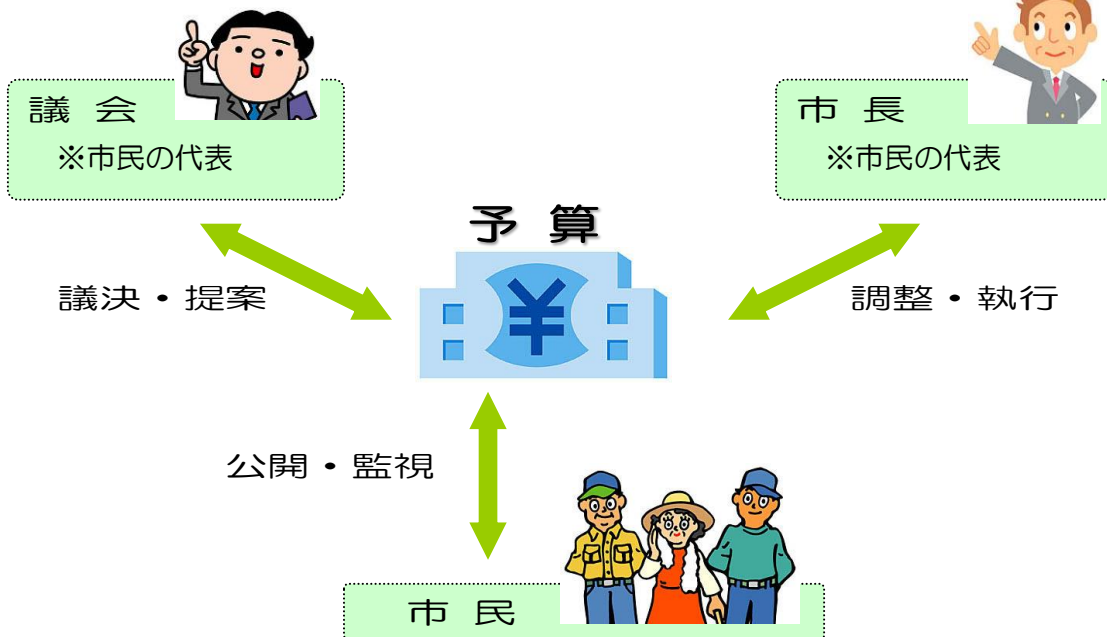
【9～11月】 市役所の各部署は、市民の皆さまからの

意見・要望等を踏まえ1年間の行政サービスを検討

【11～1月】 市長は、各部署からの予算要望を予算案としてまとめる

【2月】 市議会へ予算案を提出

【2～3月】 市議会による審議 → 議決により決定



2 予算の種類や規模について

① 予算の種類と規模は？

④ 予算は、どの収入がどんなことに使われるか、収入と支出の関係をはっきりさせるため、一般会計と特別会計に区分しています。

一般会計

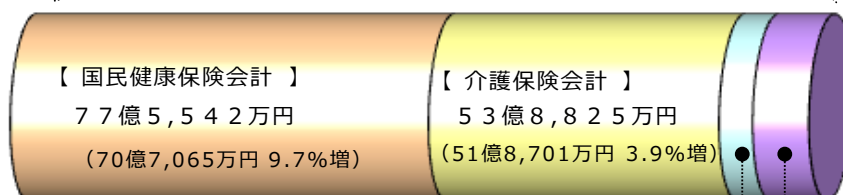
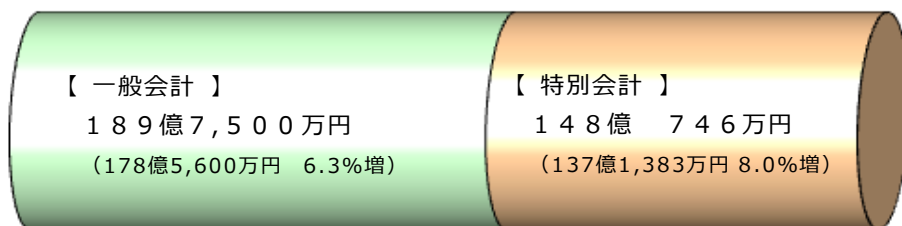
教育、福祉、道路整備
など市の基本的な行政
サービスを行う会計

特別会計

国民健康保険税や下水道
使用料など、特定の収入
で、特定の事業を行う場合
に設ける会計

平成27年度当初予算額

()内は前年度当初
予算額及び増減比
率です。



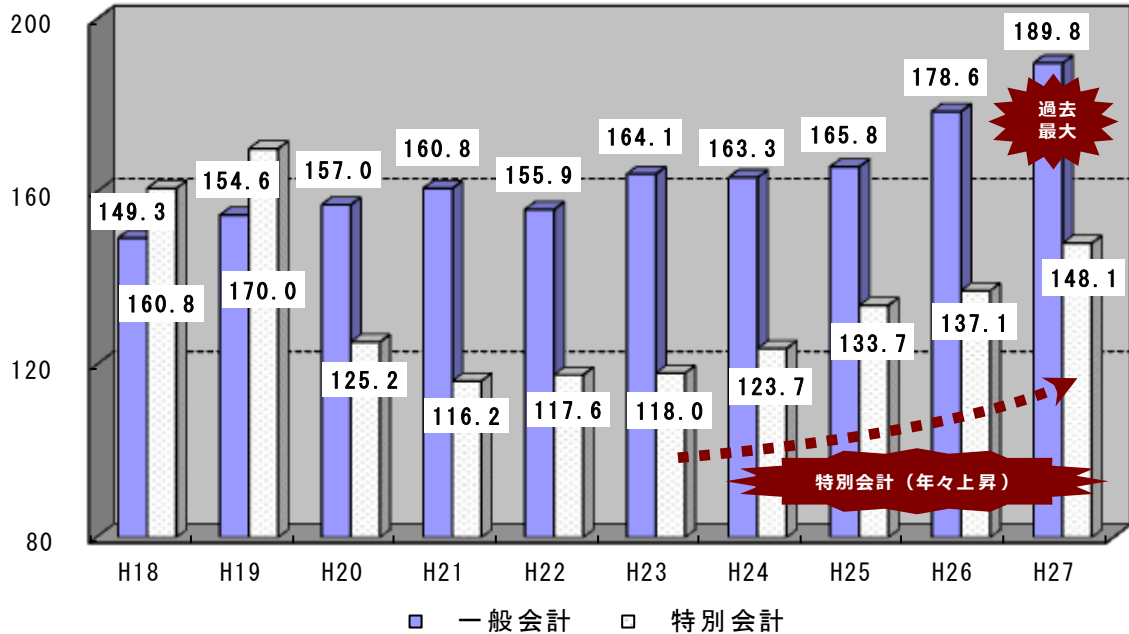
【後期高齢者医療会計】
 6億2,410万円
 (6億2,278万円 0.2%増)

【下水道事業会計】
 10億3,969万円
 (8億3,339万円 24.8%増)



ここ数年の予算額の推移は！？

当初予算規模の推移（過去10年間）



特徴と傾向を
解説します。



▼ 一般会計予算について

毎年、150 億円～165 億円の間で増減を繰り返しながら推移していましたが、平成 26 年度以降、教育施設の耐震化や土木施設の長寿命化など投資的経費の増加、子育て支援対策や高齢化に伴う医療・介護費用などの社会保障関連経費の増加により、過去最大の大型予算となりました。

▼ 特別会計予算について

平成 21 年度から右肩上がり増額しています。これは、高齢化の進行などによる医療費や介護サービス費の増額によるものです。

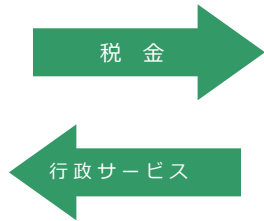
※ 平成 20 年度は、老人保健制度から後期高齢者医療制度への
制度改正により大幅減額





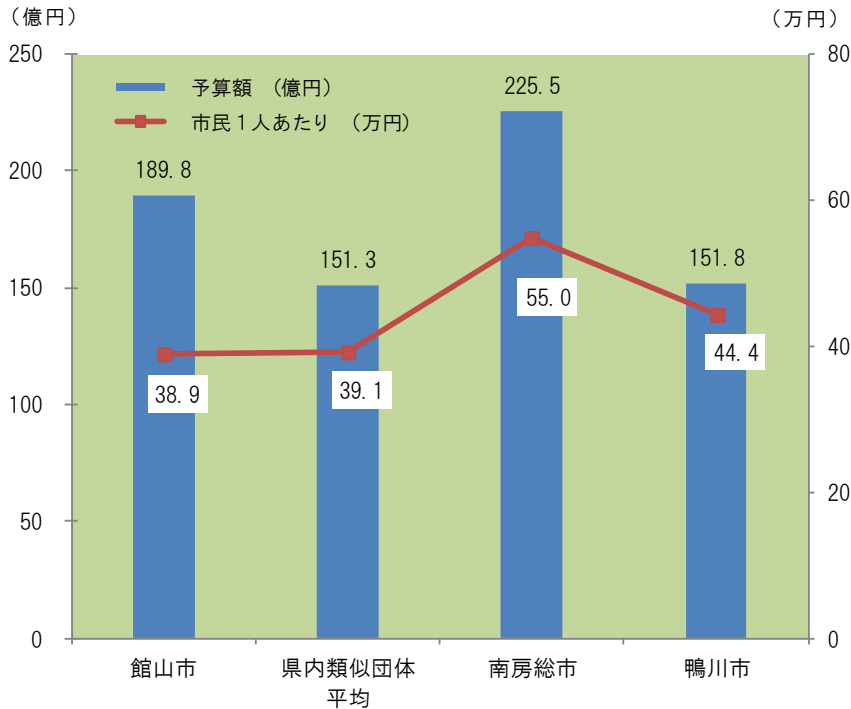
他の市と予算規模を比べると、 多いの？ 少ないの？

予算の規模は、おおよそ人口に比例します。
そのため、他市の状況との比較を行う場合には、人口規模が同程度の
団体と比較する必要があります。



人口により、税収の増減がある一方、行政サービス費用(ごみ処理・子育て関連経費など)も増減します。

一般会計予算額と市民1人あたり予算額の比較



用語解説

▼ 類似団体

国の統計区分で、市町村を人口規模や産業構造により細分化して分類したもの。館山市と同じ分類は、県内で勝浦・鴨川・富津・富里・南房総・いすみ・匝瑳の7団体です。

市民1人あたりの予算額は、館山市が一番少なくなっています。

南房総市や鴨川市は、市町村合併により地方交付税や特例債などの収入が、館山市よりも手厚く配分され、より多くの予算を使うことができるからです。

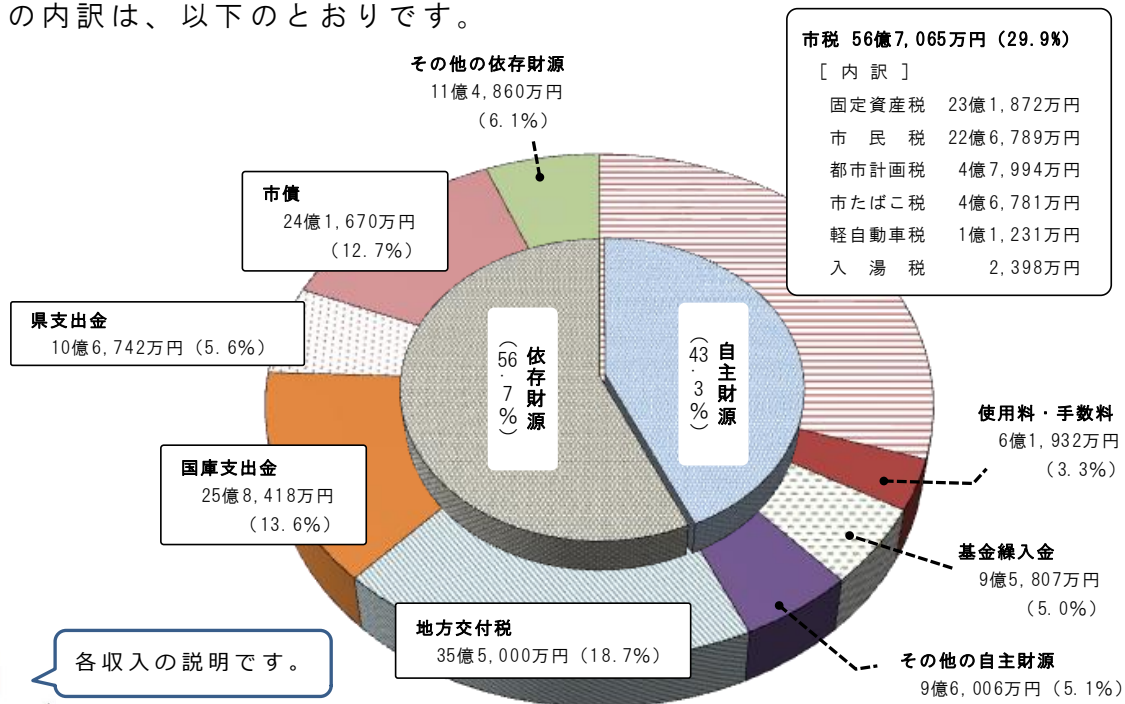


3 収入（歳入予算）の種類と金額について

歳入編

収入の種類と金額を教えてください？

Ⓐ 一般会計の歳入予算額（189億7,500万円）の内訳は、以下のとおりです。



各収入の説明です。

項目	説明	具体例
市税	皆さまから市に納めていただいた税金です。	9ページ参照
使用料 手数料	市の施設利用や証明書類の発行時にいただいているお金です。	公民館使用料 住民票発行手数料など
基金繰入金	基金（市の貯金）を取り崩すお金です。	財政調整基金繰入金など
その他の 自主財源	特定事業に必要な経費の一部を負担金として納めていただくお金などです。	保育園の保育料 がん検診徴収金など
地方交付税	全国の地方公共団体が、一定レベルの行政サービスが出来るよう国から交付されるお金です。	
国庫支出金 県支出金	特定事業の経費の一部として、国や千葉県から交付されるお金です。	児童手当負担金 選挙費用委託金など
市債	公共施設（道路や学校など）の建設や改修をする際に、国や銀行などから借りるお金です。	
その他の 依存財源	皆さまが国や県に納めた税金の一部が、地方に譲与されるお金などです。	地方消費税交付金 地方譲与税など

❓ 自主財源・依存財源とは？

自主財源

市が自主的に調達できる収入
(市税・使用料・基金取崩し等)

依存財源

国・県から交付される収入や市債
など、外的要因に頼るものです

自主財源は、「自治体の財政運営の体力」と言え、比率が高いほど、安定的な財政運営が可能となります。

館山市は、「県内類似団体よりは“体力あり”」と言えますが、県内市全体平均と比較すると、“やや体力不足”の状態です。



参考情報

▼ 各団体の自主財源比率

館山市	…	43.3%
県内市平均	…	52.4%
県内類似団体(※)平均	…	39.7%
南房総市	…	25.0%
鴨川市	…	39.7%

※ 類似団体の説明はP6参照
(館山市はH27予算数値、
館山市以外はH25決算数値)

❓ どうして借金(市債)をするの？

理由① 単年度の財源確保

学校改修や公園整備など一度に多額の経費を必要とするとき、借入により、財源(収入)を確保し、他の必要な事業にも取り組むためです。



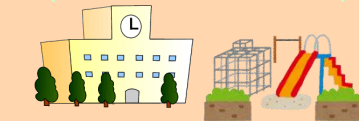
理由② 世代間負担の公平性

将来にわたり利用される公共施設は、その年の市民が負担するのではなく、将来住む人にも平等に負担してもらうためです。

現役世代



負担は公平に



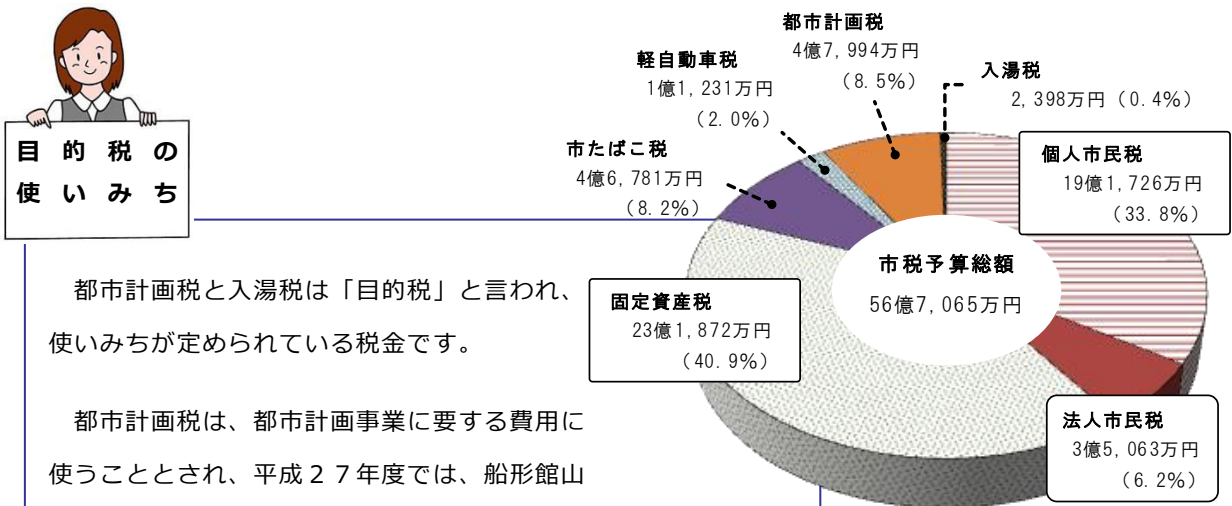
将来世代



❓ 市税収入について、詳しく教えてください。

㊤ 市民の皆さまが、直接館山市に納めていただく税金は、合計7種類あります。詳しい説明は以下のとおりです。

項目	説明	種類
個人市民税	市民の皆さまから、給与などの所得を基準に納めていただく税金です。	普通税
法人市民税	市内に事業所などを有する会社が、収益などを基準に納める税金です。	普通税
固定資産税	市内に土地・家屋及び償却資産を所有している方が、その固定資産の価格をもとに算定される税額を納めていただく税金です。	普通税
市たばこ税	たばこの製造業者や卸売販売業者などが、市内の小売販売業者に売り渡した「たばこ」に対して課されるものです。皆さまが購入するたばこの代金の中に税金が含まれています。	普通税
軽自動車税	軽自動車や原動機付自転車などを所有している人に、納めていただく税金です。	普通税
都市計画税	都市計画区域内（館山市は市内全域が指定）にある土地・家屋に対してかかる税金です。	目的税
入湯税	鉱泉浴場における入浴に対し課税されます。	目的税



目的税の 使いみち

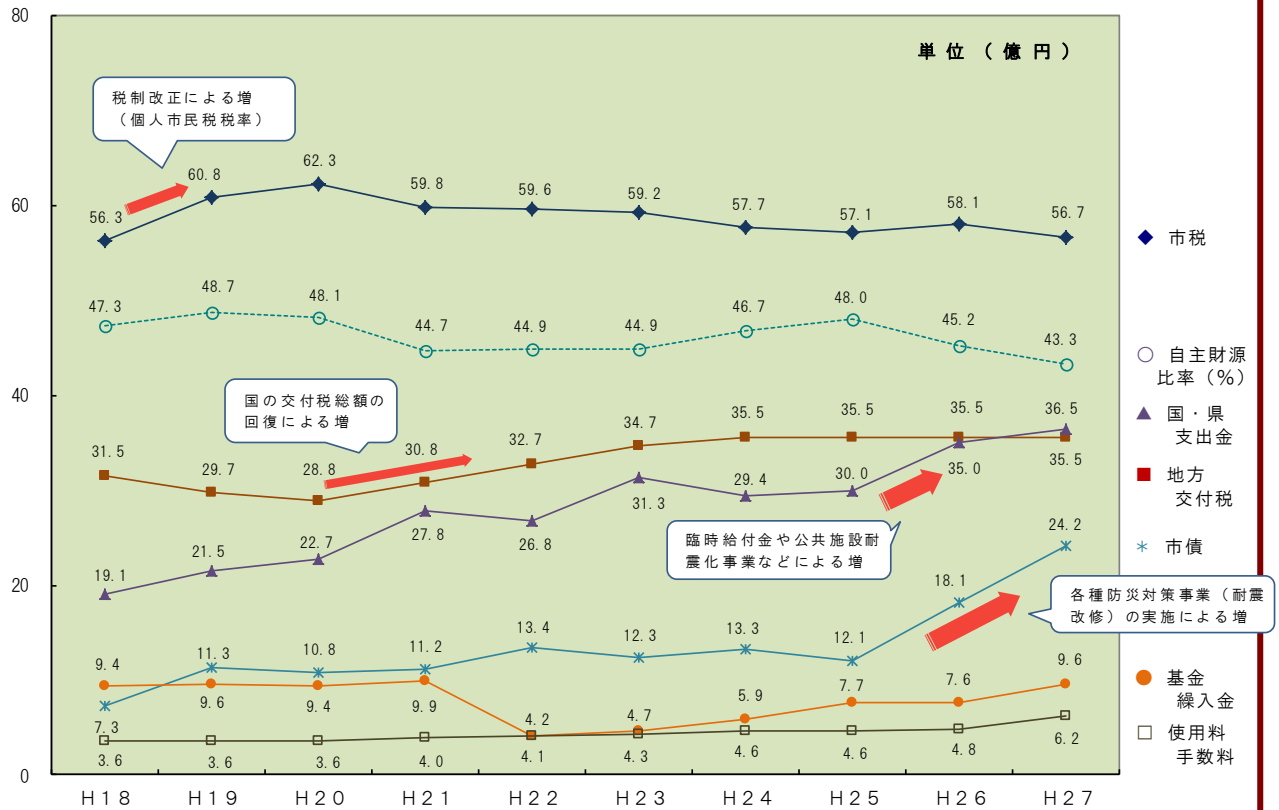
都市計画税と入湯税は「目的税」といわれ、使いみちが定められている税金です。

都市計画税は、都市計画事業に要する費用に使うこととされ、平成27年度では、船形館山線道路整備事業（船形バイパス）や公共下水道整備事業、過去に実施した都市計画事業（館山駅西口地区土地区画整理事業など）の市債返済などに充てられます。

入湯税は、観光振興事業や消防施設整備などに要する費用に使うこととされ、観光イベントや消防車両の購入費用などに充てられます。

❓ 歳入予算の推移は怎么样了の？

▼ 歳入予算額の推移 (過去10年間)



3つのポイント！！

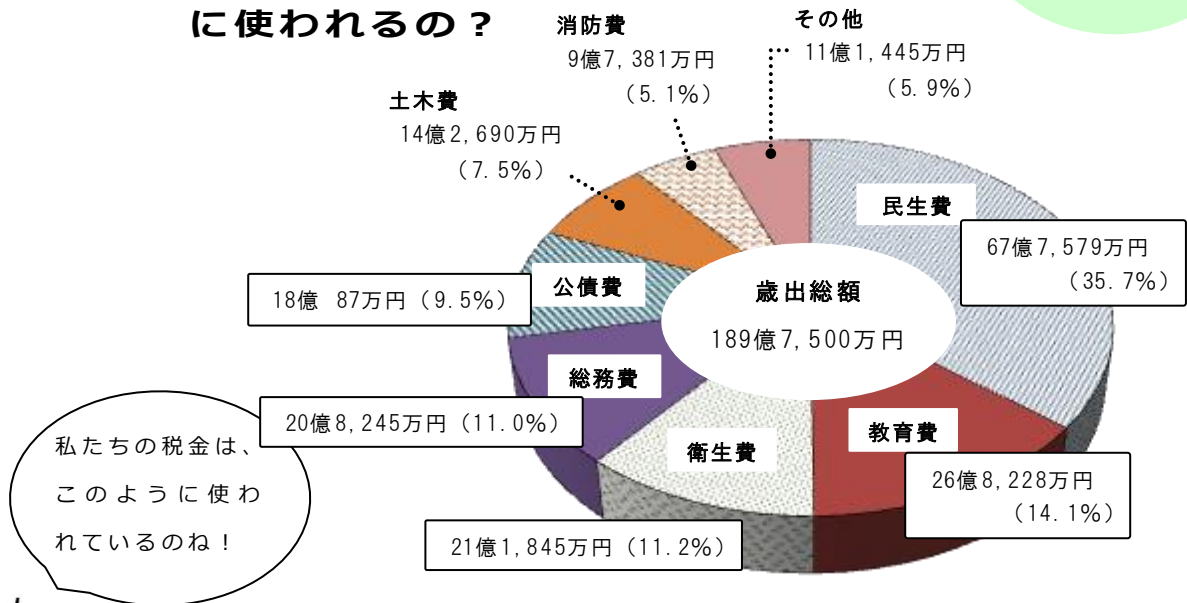
- ① 市税収入の伸び悩み・・・
全国の地方都市と同じように、高齢化に伴う生産人口の減により減少傾向となっています。
- ② 地方交付税・国県支出金は、国の政策動向により、年度間で大きく変動します！
※ 近年は、国の経済対策や福祉関連経費（生活保護費や障害・介護費用など）の増加、施設耐震化事業などにより、上昇傾向です。
- ③ 市債は、増加傾向！
東日本大震災後の公共施設耐震化事業（学校等）の推進などにより、近年増加傾向です。
※ 国による財政支援の手厚い市債（市民負担が少ない）ですが、今後の財政運営を考慮し、適切な規模での活用を図っていきます。



4 支出（歳出予算）の種類と金額について

歳出編

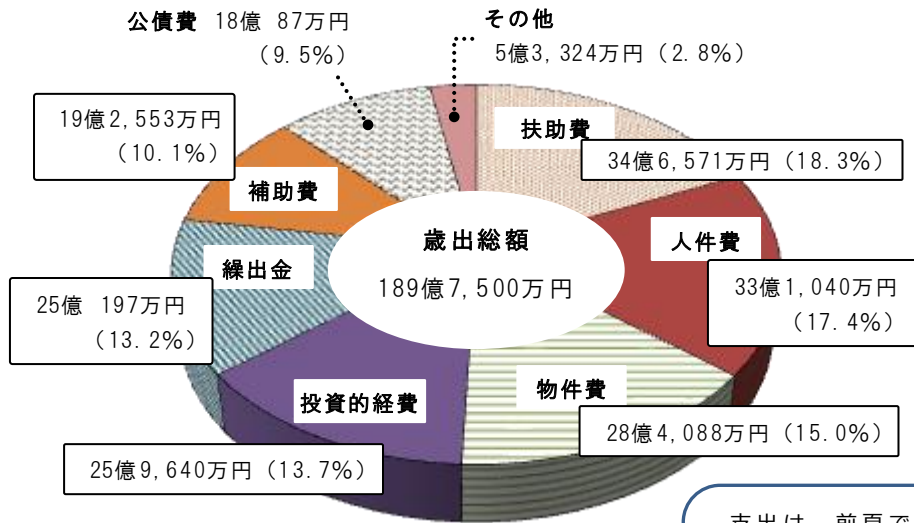
？ 予算はどんなことに使われるの？



目的名称	具 体 例
民 生 費	福祉の推進のため (生活保護、障害・介護、子育て関連経費など) 
教 育 費	教育 (学校整備や給食事業など)、 文化振興 (博物館運営など)、スポーツ振興など 
衛 生 費	清掃関連 (ごみ処理経費)、 医療関連 (予防接種など)、上水道整備費用など 
総 務 費	防災関連 (防災行政無線整備など)、 地区コミュニティ費用・その他一般的な事務費用
公 債 費	市債借入金の返済費用 (元金・利息) 
土 木 費	道路・橋梁・河川整備や 下水道整備費用など 
消 防 費	救急救命や消防活動事業など 
そ の 他	農水産業・観光業・商工業の振興や 災害関連経費、議会経費など 




市職員の人件費は、どのくらいなの？



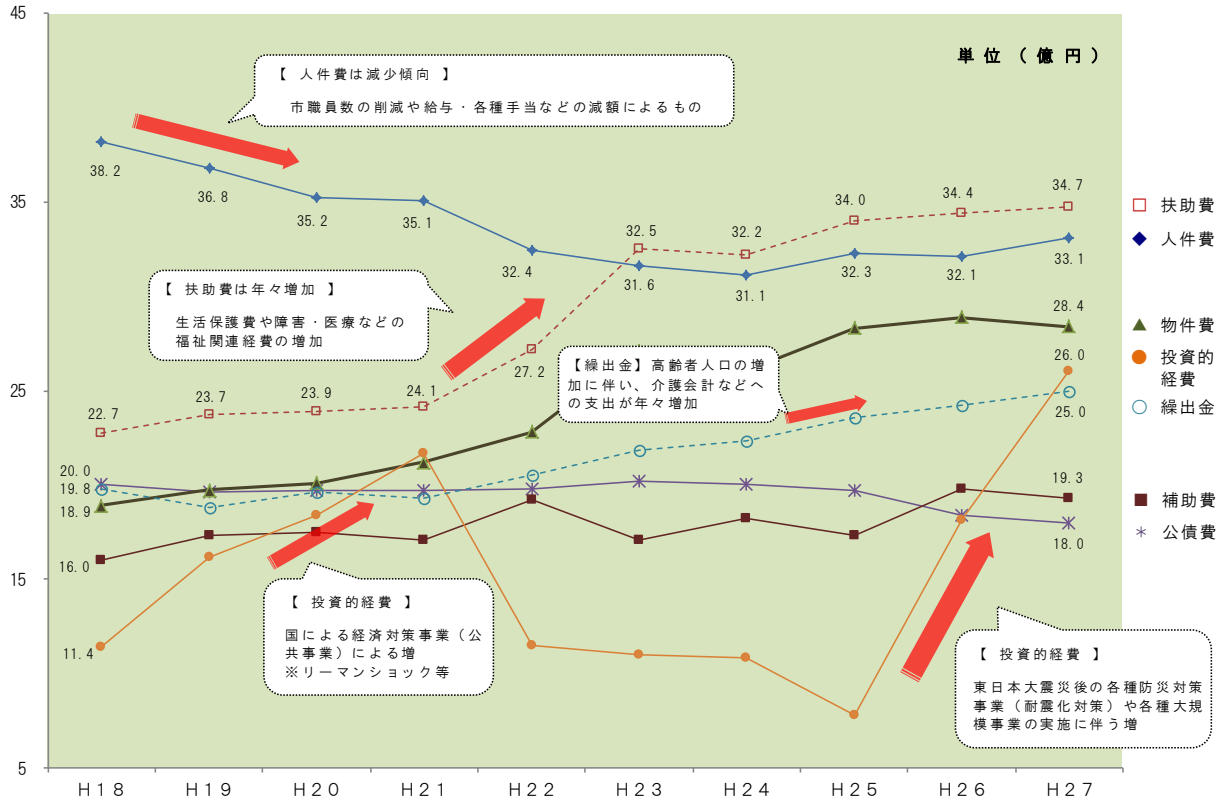
支出は、前頁で説明した「目的別」のほか、使い方で分類する「性質別」で表すこともできます。円グラフを見ると人件費には、約33億円使われる予定です。



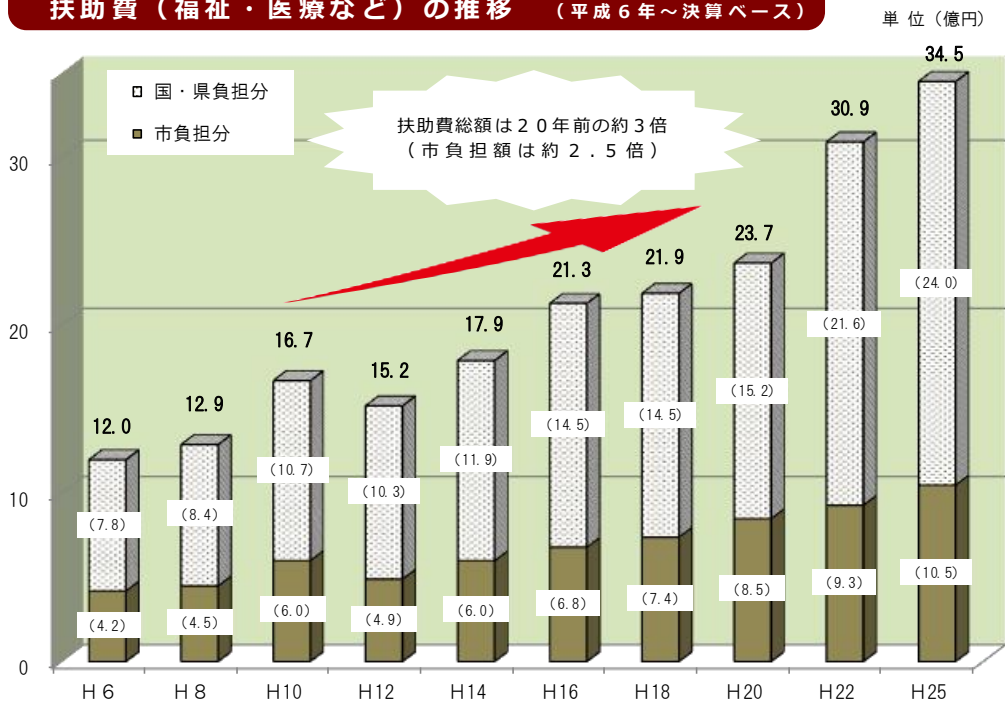
性質名称	説明・具体例
扶助費	生活困窮者や障害者、子育てなどの生活をサポートするための費用 (生活保護費、障害者・子ども医療費、児童手当など) 
人件費	市長や市議会議員、市職員の給料・手当、各種委員や消防団員への報酬などの費用 
物件費	光熱水費、事務用機器のリース代、消耗品購入費、業務委託費用など消費的な性質をもつ経費や非常勤職員の賃金など 
投資的経費	道路・学校などの公共施設の改修費用や施設の災害復旧費用など、将来も資産となって残るものに対する支出 
繰出金	特別会計(国保・介護など)の運営を補うため、一般会計から支出する経費 
補助費	各種団体活動への補助金(老人クラブ・地区コミュニティ・産業団体など)や、各種連合組織への負担金(安房郡市広域市町村圏事務組合負担金)などの費用 
公債費	借金(市債)の返済費用(元金・利息) 
その他	施設の維持補修費や他団体への貸付金・出資金など

？ 歳出予算の推移は怎么样了？

▼ 歳出予算額の推移（過去10年間）



扶助費（福祉・医療など）の推移（平成6年～決算ベース）



なぜこんなにも増えたのでしょうか？
次頁で分析してみました。



扶助費増加の主な理由

65歳以上（人口・割合）

児童手当（支給額・対象者）

子ども医療費（助成内容）



障害者医療給付（対象者・決算額）

生活保護（世帯数・決算額）

昔は…

（平成6年度）

11,375人（21.0%）

5千～1万円／月

3歳未満

未就学児の入院・通院医療費を助成

666人 4,847万円

241世帯 4億3,140万円

今は…

（平成25年度）

16,873人（34.5%）

5千～1万5千円／月

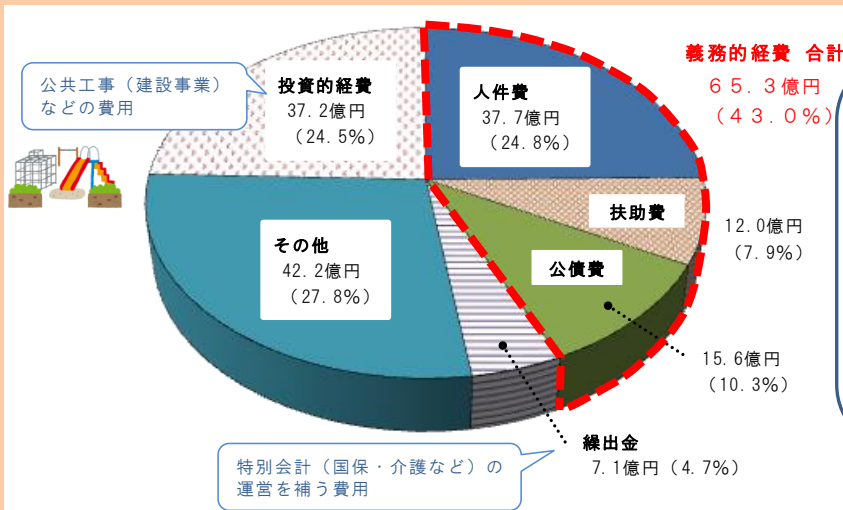
中学生まで

小3までの入院・通院、中学生までの入院医療費を助成

1,312人 1億2,071万円

565世帯 11億7,242万円

▼ 20年前の支出内訳（平成6年度決算）

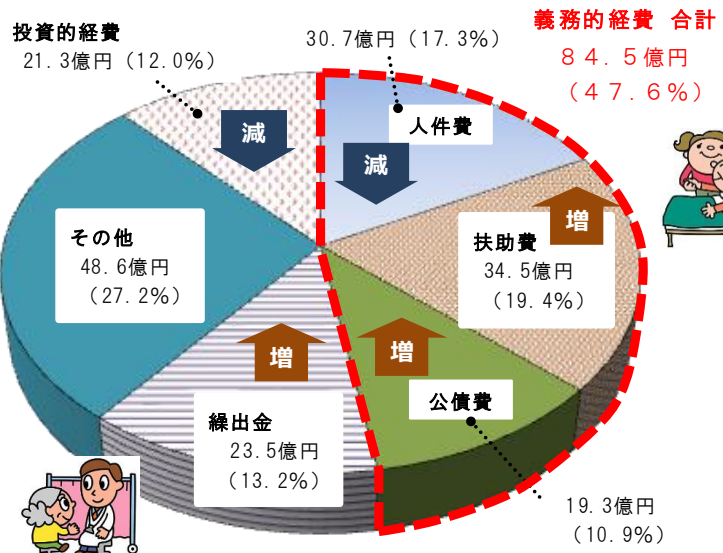


扶助費の支出状況を20年前と比較してみました。

福祉・子育て支援などさまざまな施策が拡充されてきたことが分かります。扶助費の増は、直接的な行政サービスの向上につながっています。



▼ 現在の支出内訳（平成25年度決算）



昔は上下水道や道路ネットワークなど、生活インフラ整備が十分ではなかったため、公共工事の支出が多かったのですが、現在は「福祉・医療・子育てなどソフト事業の支出へシフトしている」と言えます。

5 予算を家計に例えてみました

たてやま家 1ヶ月の家計簿

一般会計決算を家族の総収入
300万円（※1ヶ月25万円）の
家計に例えて説明します。



《 収 入 》

給与	9.6万円
世帯主 給与 （市税収入）	7.5万円
パート 収入 （使用料など）	2.1万円
貯金の取崩し （基金繰入金）	1.3万円
親からの援助 （地方交付税・国県支出金など）	10.9万円
銀行からの借入	3.2万円
（ 合 計 ）	25.0万円

《 支 出 》

食費（人件費）	4.4万円
医療・介護費（扶助費）	4.6万円
ローンの返済（公債費）	2.4万円
光熱水費・消耗品購入 （物件費）	3.7万円
地区会費やサークル活動費 （補助費）	2.5万円
家のリフォーム費用 （投資的経費）	3.4万円
子どもへの仕送り（繰出金）	3.3万円
貯蓄や知人への貸付など	0.7万円
（ 合 計 ）	25.0万円

収入のうち約4割が、親からの援助に頼っており、不安定な家計状況であることがわかります。

また、現在のローン返済額よりも新たな借入額の方が多いため、しっかりとした返済計画を立てることが必要です。

【今年の目標！】

予算では、貯金の取崩しが月1.3万円ありますが、1年間さまざまな工夫を行い、貯金の取崩しを少しでも減らしていきます。

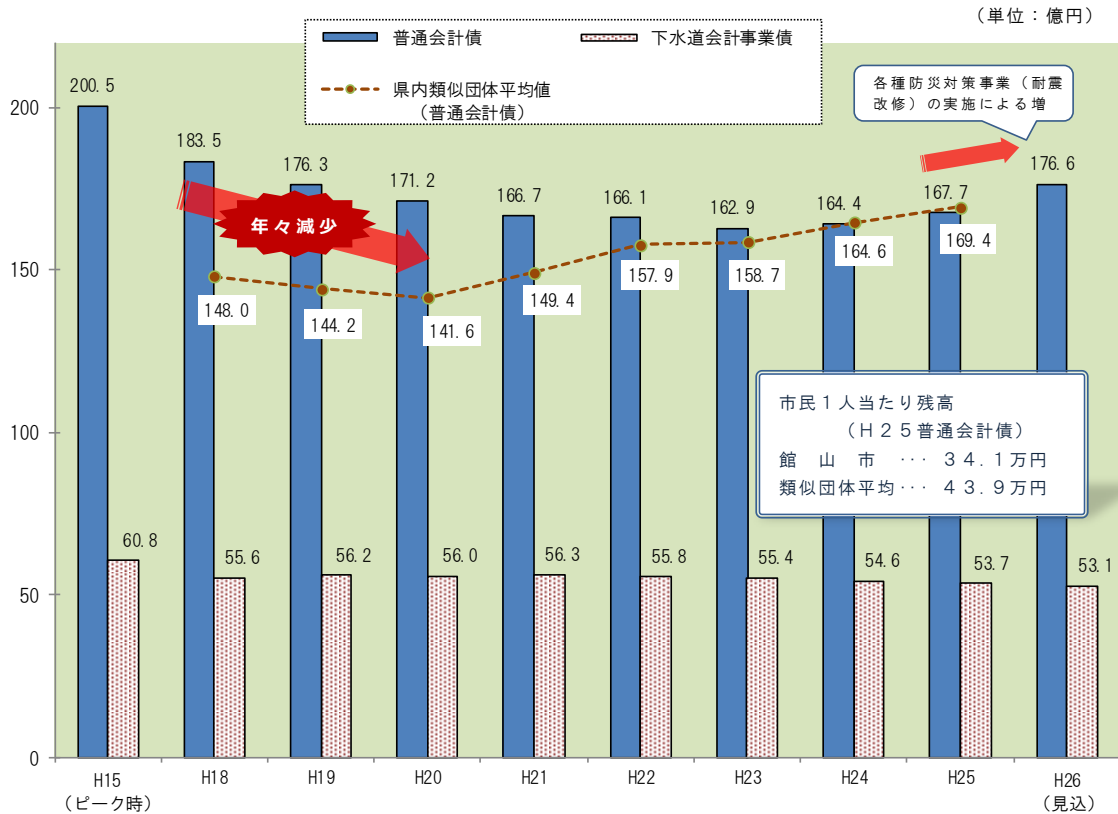


6 市の借金（市債残高）と貯金（基金残高）

借貯金

？ 市の借金は、どのくらいあるの？

▼ 市債残高の推移及び県内類似団体との比較



4つのポイント！！

- ① 残高はピーク時（H15）から、約24億円（▲12%）の減少
- ② 東日本大震災後の公共施設耐震改修事業（学校等）の推進などにより、H24から再び増加中
 ※ 国による財政支援の手厚い市債（市民負担が少ない）ですが、今後の財政運営を考慮し、適切な規模での活用を図ります。
- ③ 市民1人あたりの残高は、県内類似団体平均よりも少ない！
- ④ 市債残高などを基準に算定される、『財政健全化判断比率（※）』は、国の規準を大幅にクリアしています。

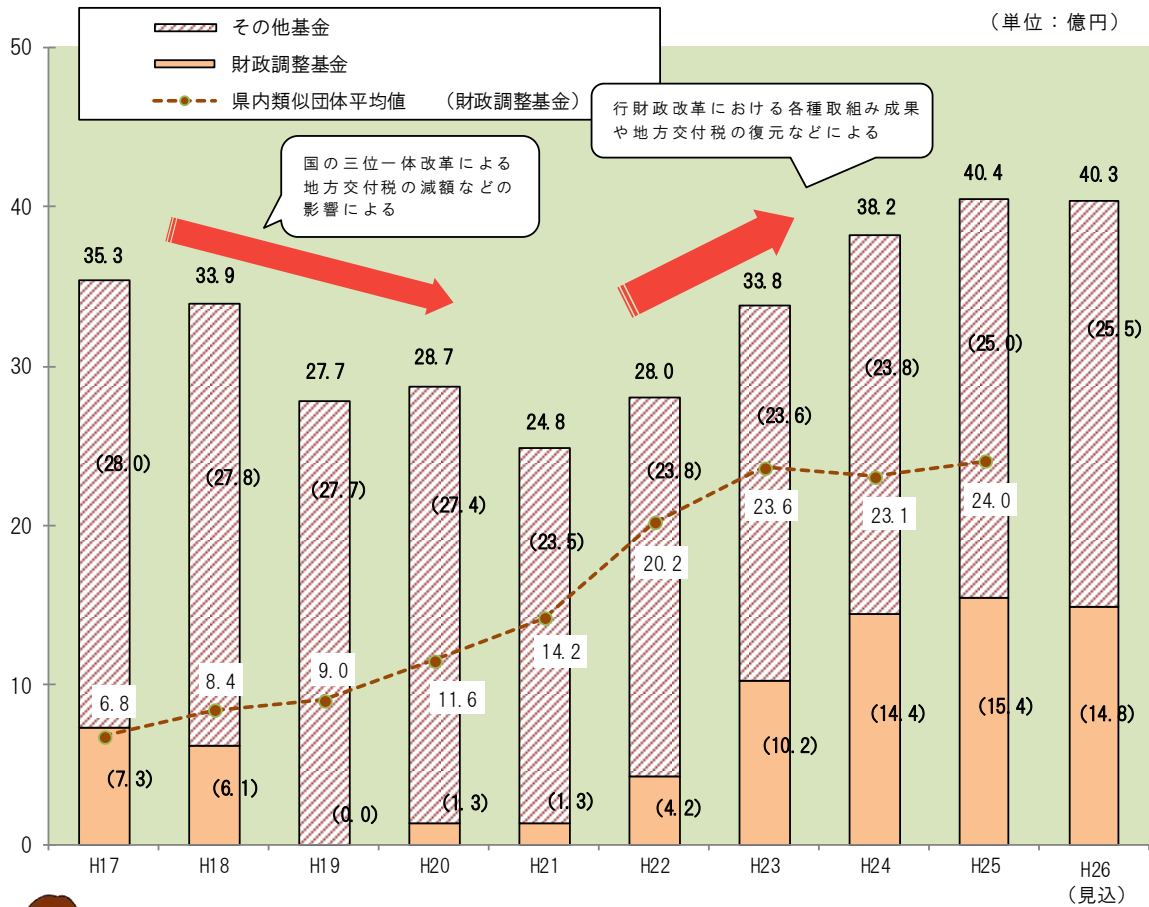
※ 財政運営の健全化を表す指標

詳しくは、20頁参照



❓ 市の貯金は、どのくらいあるの？

▼ 基金残高の推移及び県内類似団体との比較



3つのポイント！！

① 基金（貯金）の種類

▼ 特定目的基金

⇒ 特定の目的のため積立を行うもの

(例：庁舎建設基金、スポーツ振興基金など)

▼ 財政調整基金

⇒ 急激な税収減少や災害時などの不測の事態に備えるもので、「自治体財政運営のかなめ」と言えます。

② 財政調整基金は、行財政改革による効果などで、約15億円まで回復！！

③ 市民1人あたりの残高は、県内類似団体平均よりもまだ少ない状況…

市民1人当たり残高
(H25 財政調整基金)
館山市 … 3.1万円
類似団体平均 … 6.4万円



7 各種財政指標について

財政指標



市の財政状況を表す指標は、
どんなものがあるの？

- ㊦ 各種財政指標は、自治体の財政状況を判断する目安となります。多くの指標は、その年の決算とともに作成されますので、直近の平成25年度決算時点における、主なものを紹介します。

財政力指数

自治体の財政力を示す数値です。数値の高い方が財政力の強い自治体であり、1.0を超える自治体は、市税など標準的な収入で標準的な行政サービス経費を全て賄える（＝地方交付税が不交付）団体です。

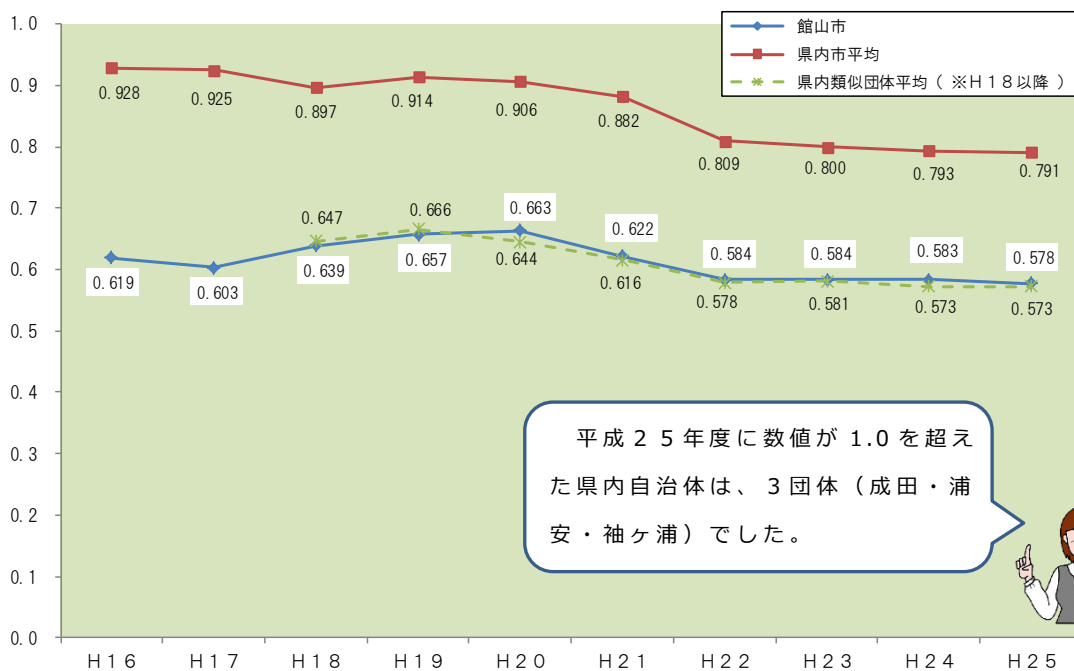
（算定式 ＝ 基準財政収入額 ÷ 基準財政需要額）

（館山市H25数値：0.578 ＝ 48億2,267万円 ÷ 83億5,048万円）

※ 基準財政収入額 …… 自治体が自由に使うことのできる収入（一般財源）のことです。市税収入や地方交付税譲与税などの合算額です。

※ 基準財政需要額 …… 標準的な行政活動を行うために必要な経費の金額です。人口や面積、道路や公園、公共施設数などにより、「国の基準で算定した館山市の最低限必要な経費」と言えます。

▼ 財政力指数（単年度）の推移



経常収支比率

自治体の財政構造の弾力性（＝自治体が自由に使えるお金が多くあること）を示す指標で、自由に使える経常的な財源（市税などの一般財源）が、経常的に支出される経費（人件費・扶助費・公債費など）にどれだけ充てられたかを表します。

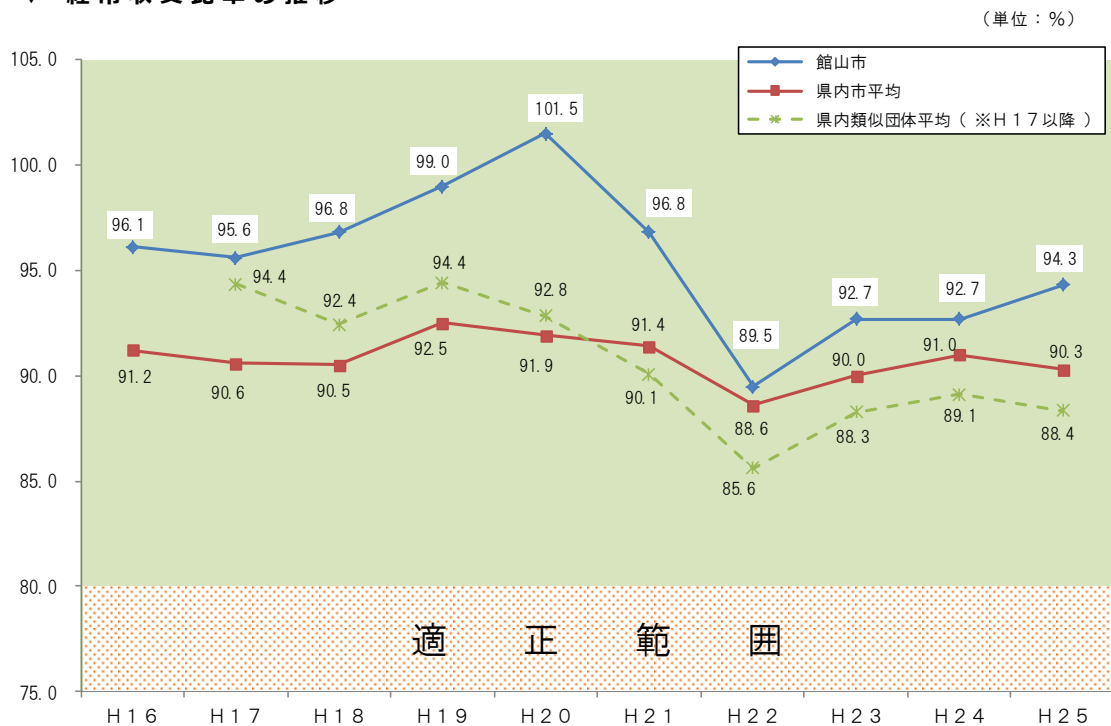
家計に例えると、食費・医療費・ローン返済費用など固定経費の支払が、毎月の給料に占める割合であり、数値が高いほど、家計（＝財政）のやり繰りが苦しいということになります。

（算定式＝経常経費一般財源 ÷ 経常一般財源）

（館山市 H25 数値：94.3%＝103 億 5,844 万円 ÷ 109 億 8,374 万円）

※ 「望ましいとされている比率は 70～80%」と言われています。

▼ 経常収支比率の推移



経常収支比率は、扶助費などの経常的な支出増加により、平成17年以降年々上昇し、平成20年度には100%を超えました。

その後、行財政改革による取組み（人件費削減・各事業の見直しなど）や地方交付税の増加などにより、比率は下がりましたが、近年、扶助費や繰出金の増加などにより、再び上昇傾向となり、県内他団体と比較しても高い数値となっています。



財政健全化判断比率

平成19年に自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的に、「自治体財政健全化法」が成立し、財政の健全化を判断する4つの指標の公表が義務付けられました。

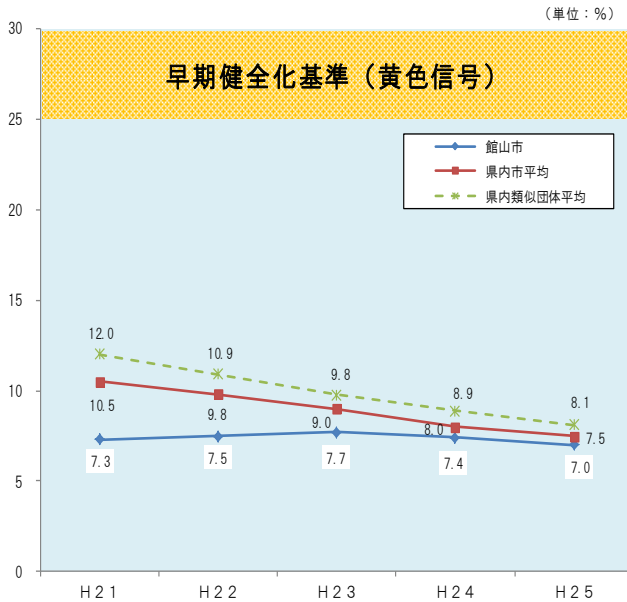
各指標には、国の定める基準があり、基準値を超える団体は財政健全化計画などを作成し、その計画に沿った運営を行うこととなります。

(単位：%)

4つの指標	市数値 (H25)	国の定める基準		説明
		早期健全化基準 (黄信号)	財政再生基準 (赤信号)	
実質赤字比率	—	13.22	20.0	普通会計の赤字の程度を表す指標
連結実質赤字比率	—	18.22	30.0	すべての会計を合算した市全体の赤字の程度を表す指標 (市全体の財政運営の深刻度を示す)
実質公債費比率	7.0	25.0	35.0	借入金の返済額などが財政に及ぼす負担を表す指標 (資金繰りの危険度を示す)
将来負担比率	67.3	350.0	—	借入金残高や将来支払いの可能性のある負担などを、現時点で表す指標 (将来の財政運営の危険度を示す)

※ 実質赤字比率・連結実質赤字比率は、赤字額がない(黒字)のため「—」で表示しています。

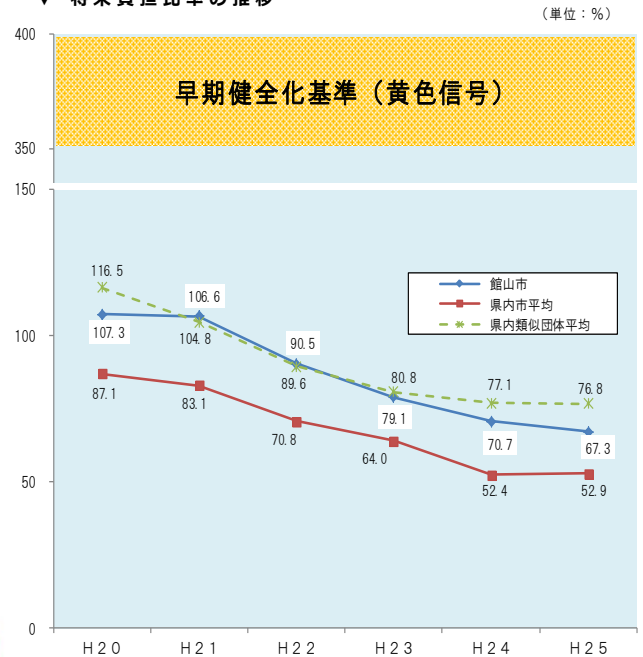
▼ 実質公債費比率の推移



いずれの指標も、国の定めた基準を大幅に下回っており、県内平均値とほぼ同水準となっております。



▼ 将来負担比率の推移



財政状況を、体の健康状態に例えてみましょう！！

定期健診の結果

3つのポイントで解説します。



チェックポイント

H25年度

判定

目標値

ポイント① ～ 借金（市債）残高は妥当なものか？ ～

▼ 毎年の借金返済額が、多くなっていないか？

実質公債費比率

7.0%

A

10.0%以下 ※ 国の基準 25.0%

▼ 将来の子どもたちへの負担が、多くなっていないか？

将来負担比率

67.3%

A

100.0%以下 ※ 国の基準 350.0%

ポイント② ～ 貯金（基金）残高は妥当なものか？ ～

▼ 将来に備えた貯金をしているか？

財政調整基金残高

15.4億円

B

20億円以上

※ 県内平均値（対標準財政規模）

ポイント③ ～ 財政運営の「ゆとり」は、あるのか？ ～

▼ 財政に「ゆとり」がどれだけあるのか？

実質赤字比率

- ※赤字無し

A

発生させない

連結実質赤字比率

- ※赤字無し

A

発生させない

経常収支比率

94.3%

C

91.0%以下 ※ 県内市平均値

- A 正常 健康です
- B 注意 健康ですが、生活に注意が必要です
- C 要経過観察 治療が必要な状況ではありませんが、生活改善などの努力が必要です
- D 要治療 1日も早く受診し、医師の適切な治療が必要です
- E 要入院 速やかに入院し、一定の改善が見られるまで生活上の制約が必要です

8 行財政改革の取組みについて

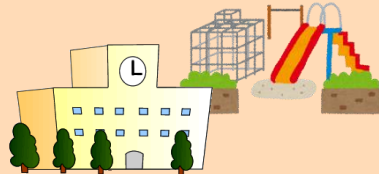
行財政
改革

❓ 行財政改革とは？なぜ取組みが必要なの？

将来の心配事・・・



税収の
伸び悩み



公共施設の老朽化



更なる少子高齢化による
福祉・医療費の増加



「ゆとり」のない財政運営
※経常収支比率の高止まり
(19頁参照)

これから増加する費用や、
新たな市民サービスの向上を図るためには・・・



市民協働（行政が実施すること、
市民・NPO団体などに実施し
てもらうことの明確化）



生活習慣病の予防、病気の
早期発見・治療など健康
寿命を延ばす施策により、
医療・介護費を削減
します



行政サービスの
見直しが必要！



行政サービスを受
ける人に応分の負
担を求めます



公共施設の統廃合・
民間委託の推進





これまでの取組み内容とその結果は？

「行財政改革方針」における取組み（平成 21～25 年：合計効果額）

《 歳入増加額 5カ年合計：5億7,799万円 》

- ・ 市税の徴収対策強化による税込確保 1億3,490万円
- ・ ふるさと納税制度の新規項目設定による寄附額増
（コミュニティ医療事業・小谷家住宅保存活用事業） 1億3,378万円
- ・ 市有財産の売却（未利用土地・建物など） 1億1,665万円
- ・ し尿処理手数料の改定 9,314万円
- ・ 公共施設使用料の改定（市民運動場・公民館など） 2,060万円
- ・ 新規手数料の徴収（赤山地下壕跡観覧料・粗大ごみ手数料） 1,022万円
- ・ 有料広告制度の導入（広報誌・市HPなど） 596万円

使用料改定など、市民の皆さまのご協力が、
歳入増加につながっています。



《 歳出削減額 5カ年合計：10億7,779万円 》

- ・ 職員給与の削減（特別職・一般職） 4億100万円
（H22～24年度：特別職10%、一般職3～5%削減）
- ・ 職員数の削減（H20：414人→H25：398人16人減） 3億9,745万円
- ・ 各種施設等の運営方法見直しによるもの 8,220万円
（生活排水処理施設・老人福祉センター・温水プールなど）
- ・ 各種補助事業の見直しによるもの 3,000万円
（短期人間ドック・生ごみ処理機購入補助など）

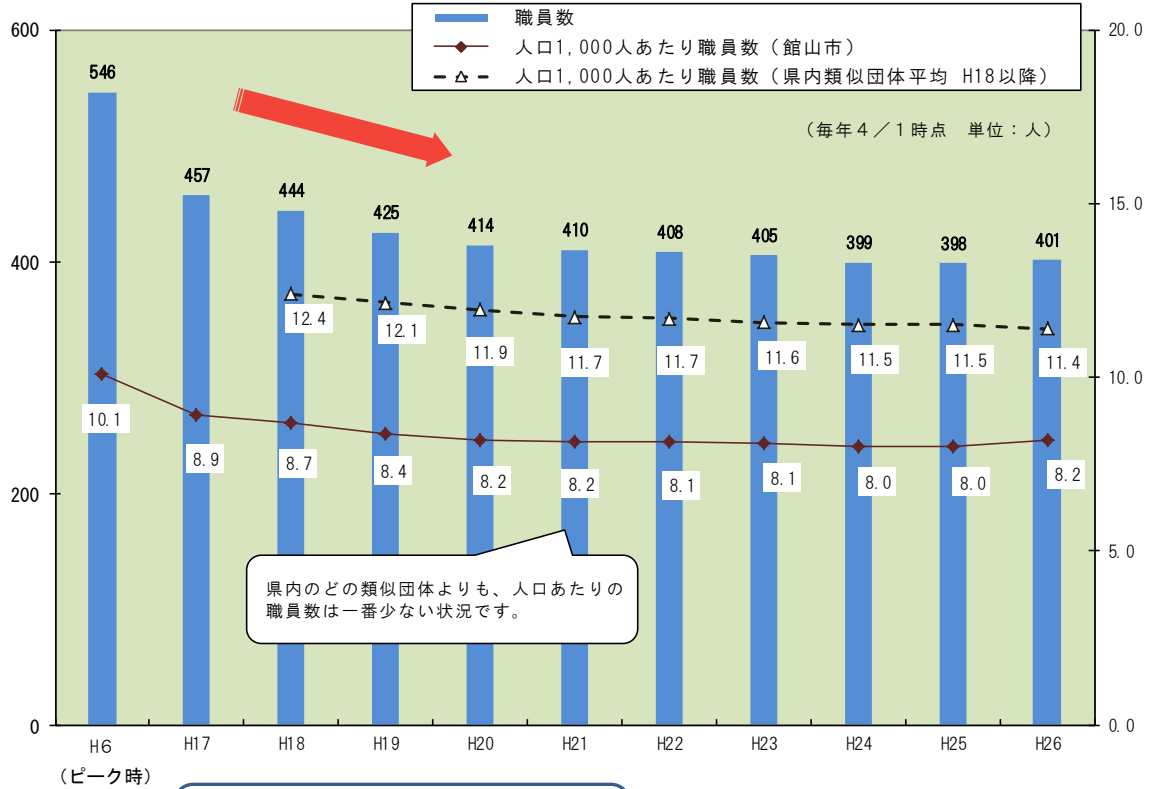
今後も、「各種施設の効率的運用・統廃合・民営化」の検討や更なる
自主財源の確保などについて取り組んでいきます。





人件費の削減が大きいけど、 市職員数はどのくらい減らしてきたの？

▼ 市職員数の推移



どうして職員をこんなに減らしてきたのでしょうか？



3つのポイント！！

- ① 民間企業で実施可能なことは、
業務委託をお願いします！
(例：ごみ収集の民間委託、施設の指定管理など)
- ② 業務内容に応じて非常勤職員を積極的に
雇用・育成し、マンパワーを確保します。
(例：住民票の発行、施設受付、日々の事務作業など)
- ③ 『最少の経費で最大の効果』を目標に！！
※ 職員数は少なくても、
住みよいまちづくりのため
職員一丸となって努力していきます。



平成27年度 主な事業と予算額

「活力あるふるさと館山」の実現に向けて

事業名称と事業実施の担当部署を記載しています。

- [新規] → 平成27年度の新たな取り組み
- [拡充] → 平成27年度に事業内容を拡充

ここからは、市が平成27年度に取り組む主な事業について、概要・事業費・その事業にかかる財源などを説明します。

「皆さまの身近で行われるさまざまな事業に、どの程度の費用を必要としているのか」などに着目して、お読みいただければ幸いです。



[新規] ●●●●事業 (△△△課)

事業費		XXX万円
財源	国	XXX万円
	県	XXX万円
	市債	XXX万円
	他	XXX万円
	市	XXX万円

事業内容の説明文書

事業実施にあたり、どんなお金をもと（財源）にして、事業を行うかを表しています。

- 国 → 国が負担する金額
- 県 → 県が負担する金額
- 市債 → 市の借金によるもの
- 他 → 利用者などの負担によるもの
- 市 → 市が負担（市民の皆さまの税金などの一般財源）

『健康で安心して暮らすことのできる

まちづくり』のため



消 防 ・
防 災 編

〔拡充〕 防災行政無線整備事業 (社会安全課)

事業費 2億 366万円

財 源	国	9,905万円
	県	
	市債	8,910万円
	他	
	市	1,551万円

デジタル防災行政無線の新設(3基)改修(10基)、中継局等の整備、移動系無線システムのデジタル化を行い、災害時における情報連絡体制及び救援体制の確保を図ります。

設置基数 132基
(平成26年度末)



〔新規〕 市庁舎(4号館)太陽光発電装置設置事業 (管財契約課)

事業費 3,098万円

財 源	国	
	県	3,098万円
	市債	
	他	
	市	

大規模災害時の停電等に備えるため、災害対策本部となる市役所4号館に、太陽光発電装置及び蓄電装置を新たに設置します。



防災対策道路整備事業 (建設課)

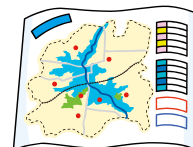
事業費 698万円

財 源	国	
	県	
	市債	690万円
	他	
	市	8万円

災害時の避難路となる法定外道路について、安全性を確保するため舗装補修工事を行います。

湊地区 子安神社への避難経路
延長=130m
平成26年度~平成27年度
:2カ年事業

ハザードマップ



自主防災促進事業 (社会安全課)

事業費 248万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	248万円

自主防災組織が行う、防災機材の購入や非常食の備蓄などに補助を行い、自主防災組織の充実を図ります。

補助対象：自主防災会
補助金額
(施設整備) 限度額 100万円
(備品購入) 限度額 20万円



[新規] 防犯カメラ設置事業 (社会安全課・都市計画課)

事業費 216万円

財源	国	
	県	40万円
	市債	
	他	
	市	176万円

盗難・ひったくり・器物破損などが起こりやすい場所に防犯カメラを設置します。

市内3カ所
(館山駅前・中村公園周辺・北条中央公園)



安房郡市広域市町村圏事務組合 常備消防費負担金 (社会安全課)

事業費 8億1,242万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	8億1,242万円

常備の広域消防体制の整備充実を図るため、安房郡市広域市町村圏事務組合が行う消防や救急事業についての館山市負担金を支出します。



消防団機材・詰所整備事業 (社会安全課)

事業費 4,252万円

財源	国	935万円
	県	266万円
	市債	3,040万円
	他	
	市	11万円

消防力の充実・強化を図るため、消防団詰所や消防団が使用する各種機材の整備を図ります。

- 詰所新築 (長須賀地区) 1カ所
- ポンプ自動車購入 1台
- 可搬ポンプ購入 2台





福祉・医療
子育て編

障害者自立支援事業 (社会福祉課)

事業費 7億6,622万円

財源	国	3億8,257万円
	県	1億9,128万円
	市債	
	他	
	市	1億9,237万円

障害者などへ、適切な介護支援や身体機能・生活能力向上に必要な訓練などを行い、地域生活を営むための支援を行います。

※ 障害介護給付費
利用見込人数 実 410人



心身障害者(児)医療費給付扶助費 (社会福祉課)

事業費 1億2,847万円

財源	国	
	県	4,716万円
	市債	
	他	
	市	8,131万円

心身障害者等に対し、心身障害者医療費を支給し、生活の安定と福祉の増進を図ります。また、県制度改正に伴い、自己負担額の見直しを行います。

- 重度障害者分 自己負担：1回300円
※ 市民税所得割非課税世帯は自己負担なし
- 中軽度障害者分 自己負担：1回600円

高齢者福祉団体補助事業 (高齢者福祉課)

事業費 1,263万円

財源	国	
	県	214万円
	市債	
	他	39万円
	市	1,010万円

老人クラブや館山市シルバー人材センターを支援するため、活動費や運営費を補助し、高齢者福祉の向上を図ります。



生活保護事業 (社会福祉課)

事業費 11億9,362万円

財源	国	8億9,521万円
	県	5,427万円
	市債	
	他	
	市	2億4,414万円

生活困窮者に対して生活保護法を適用し、最低限度の生活を保障する保護費の給付を行うとともに、生活指導による、自立助長を図ります。

[生活保護適用]
573世帯 718人
(平成27年2月時点)



安房郡市広域市町村圏事務組合 保健衛生費負担金 (健康課)

事業費 5,274万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	5,274万円

地域住民の生命と健康を守るため、安房郡市広域市町村圏事務組合へ救急医療に関する保健衛生費を負担し、救急医療体制の確保・充実を図ります。

[主な内容]

病院群輪番制病院運営事業

土曜午後・日曜休日昼間・毎夜間の病院運営事業を実施



安房地域医療センター救急医療事業運営費補助金 (健康課)

事業費 4,307万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	4,307万円

救急医療体制の充実を図るため、二次救急医療の基幹病院である安房地域医療センターが行う救急医療の運営費へ補助を行います。



健康診断・予防接種事業

(健康課)

事業費 1億5,717万円

財源	国	198万円
	県	148万円
	市債	
	他	1,076万円
	市	1億4,295万円

乳幼児・学童・高齢者の疾病予防のため、各種予防接種やがん検診などを実施します。

[主な内容]

- ・ 高齢者インフルエンザ
- ・ 四種混合 ・ 日本脳炎
- ・ 各種がん検診 など



病児・病後児保育事業

(こども課)

事業費 805万円

財源	国	
	県	537万円
	市債	
	他	101万円
	市	167万円

児童が病気の治療中又は病気の回復期にあり、集団保育及び保護者による保育が困難な場合に、一時的に預かり、保護者の子育てと就労等の両立を支援します。

[受入施設]

亀田病児・病後児保育室 たてやま



元気な広場運営事業

(こども課)

事業費 1,701万円

財源	国	417万円
	県	417万円
	市債	
	他	
	市	867万円

子育て中の親子の交流、子育て講座、育児相談などにより、子育てへの不安解消、児童虐待防止の推進を図ります。

[元気な広場利用者数]
平成26年度 延29,767人
※ 平成27年2月末時点



子ども医療費給付金

(こども課)

事業費 1億1,232万円

財源	国	
	県	4,658万円
	市債	
	他	
	市	6,574万円

子どもの保険診療に係る費用へ助成を行い、子どもの保健及び保護者の経済的負担の軽減を図ります。

[保護者負担額]
入院1日300円(中学3年生まで)
通院1回300円(小学6年生まで)
調剤は無料(小学6年生まで)



児童手当給付事業

(こども課)

事業費 5億8,868万円

財源	国	4億679万円
	県	9,094万円
	市債	
	他	
	市	9,095万円

中学校修了前までの子どもを養育する保護者を対象に手当を支給し、子どもの健全な育成や子育てに係る経済的負担を軽減します。

[児童手当額]
月額 5千円～1万5千円



[新規] 学童クラブ運営・施設整備事業

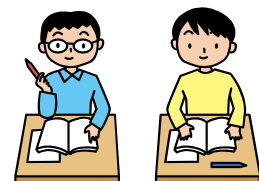
(こども課)

事業費 9,500万円

財源	国	1,338万円
	県	1,338万円
	市債	
	他	3,747万円
	市	3,077万円

子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、学童クラブを公設化し子育て環境の改善・子育て世帯の支援を図ります。

[公設箇所]
船形・那古・北条・館山・
豊房・館野・九重
[施設整備]
豊房(新設工事) 外



[拡充] 公立保育所における保育時間延長 (こども課)

事業費	1億2,858万円		
財源	国		
	県		
	市債		
	他	1億	991万円
	市		1,867万円

公立保育所の受入れ時間を30分延長し、保育環境の改善・子育て世帯の支援を行います。

[変更前]
7:30~18:00

[変更後]
7:00~18:00 (4園)
7:30~18:30 (2園)



臨時給付金支給事業 (社会福祉課)

事業費	1億950万円		
財源	国	1億	950万円
	県		
	市債		
	他		
	市		

消費税率の引上げを踏まえ、低所得者・子育て世帯への影響を緩和するため、臨時給付金の支給を行います。

給付額 3千円~6千円
対象者 市民税非課税者・児童手当受給者
※ 市民税課税者の扶養親族除く



水質検査等委託事業 (環境課)

事業費	210万円		
財源	国		
	県		
	市債		
	他		6万円
	市		204万円

市民の健康を守るとともに、快適な生活環境を保全するため、環境汚染物質の調査・測定を実施し、監視に努めます。

[主な内容]
地下水水質検査 (市内6カ所)
河川水質検査 (市内4河川) など



ごみ再資源化事業 (環境課)

事業費	1億4,454万円		
財源	国		
	県		
	市債		
	他		418万円
	市	1億4,036万円	

ごみの分別による再資源化を促進し、燃やせるごみの減量化を図ります。

[再資源化対象]
金属類・ガラス類・プラスチック製容器包装・古紙類
ペットボトルなど



住宅用省エネルギー設備設置費補助金

(環境課)

事業費 340万円

財源	国	
	県	340万円
	市債	
	他	
	市	

地球温暖化対策を促進するため、住宅用省エネルギー設備を設置する者に対し、補助金を交付します。

[補助対象]

- ・ 家庭用太陽光発電システム
- ・ 燃料電池 (エネファーム)
- ・ 家庭用蓄電池 外



安房郡市広域市町村圏事務組合 ごみ処理広域化推進費負担金 (環境課)

事業費 5,172万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	5,172万円

安房郡市広域市町村圏事務組合が推進している、ごみ処理広域化事業の負担金を支出します。

[平成27年度事業]

環境影響評価・施設基本計画策定委託 外

土木・
交通編

道路新設改良事業

(建設課)

事業費 1億7,870万円

財源	国	2,081万円
	県	
	市債	1億2,070万円
	他	740万円
	市	2,979万円

生活環境及び道路機能の向上を図るため、市道の改良などに伴う測量・調査・設計や改良・排水・舗装の整備を行います。

[主な内容]

- | | |
|----------|-----|
| 道路改良工事 | 2路線 |
| 道路排水整備工事 | 7路線 |
| 道路舗装補修工事 | 6路線 |



[拡充] 道路付属物点検・維持管理計画策定事業 (建設課・社会安全課)

事業費 1,630万円

財源	国	897万円
	県	
	市債	
	他	
	市	733万円

車両や歩行者等の安全な通行を図るため、道路標識・照明などの点検調査や適切な補修工事を計画的に実施するため、維持管理計画の策定を行います。

[主な内容]

- ・ 点検調査 2級市道 外
- ・ 維持管理計画 (1・2級市道、トンネル)



橋梁整備事業

(建設課)

事業費 4,800万円

財源	国	2,640万円
	県	
	市債	1,100万円
	他	
	市	1,060万円

安全・円滑な交通機能確保のため、橋梁の補修工事や補修設計・点検調査業務などを行います。

[主な内容]

- ・ 橋梁補修工事
(館山大橋・川名橋)
- ・ 補修設計 2カ所
- ・ 定期点検 50カ所



船形館山線道路整備事業

(都市計画課)

事業費 1億8,028万円

財源	国	8,142万円
	県	
	市債	5,990万円
	他	
	市	3,896万円

道路ネットワークの整備や避難路確保、観光振興を図ることを目的とした、船形バイパスの整備を行います。

- ※ 船形バイパス
富浦IC付近～鏡ヶ浦通り
へのアクセスルート
平成26年度～用地取得



[新規] 宇田排水路整備事業

(都市計画課)

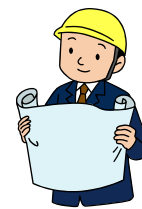
事業費 1,070万円

財源	国	589万円
	県	
	市債	430万円
	他	
	市	51万円

船形バイパスの整備に合わせ、周辺浸水被害の解消を図るため、雨水排水路整備にかかる設計業務を行います。

[工事概要]

- ・ 船形地区
工事延長 = 1.3km



館山駅東口駅前広場改修事業

(都市計画課)

事業費 250万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	250万円

館山駅東口駅前広場における、交通の安全性向上を図るため、改修計画を策定します。

- 平成26年度：地形測量
- 平成27年度：改修計画策定





学校教育編

いじめ相談室設置事業

(学校教育課)

事業費 195万円

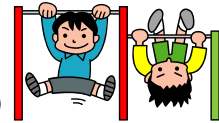
財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	195万円

「いじめ相談室」に「いじめ問題アドバイザー」を配置し、小中学校のいじめに関する電話・訪問相談に対応し、早期発見・早期解決を図ります。

[いじめ相談室概要]

場所：コミュニティセンター

対応日：月～金（10:00～18:00）



[拡充] 特別支援教育体制推進事業

(学校教育課)

事業費 1,939万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	1,939万円

さまざまな障害をもつ児童生徒に対する学習支援を行うため、小中学校等に特別支援教育学習支援員を派遣します。

[支援員人数]

小・中学校16名

※ 平成27年度から4名増員



[新規] 学力向上推進事業

(学校教育課)

事業費 53万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	53万円

中学校区に学力向上推進コーディネーターを配置し、学力向上委員会等で指導・助言を行い、児童生徒の学力向上、小中一貫教育の推進を図ります。

※ 2名配置



学校施設（小学校）耐震改修事業

（教育総務課）

事業費 5億7,849万円

財源	国	1億2,765万円
	県	
	市債	4億5,060万円
	他	
	市	24万円

児童の安全対策のため、学校施設の耐震改修工事を実施します。

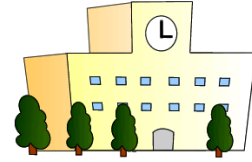
[工事箇所]

館山小（東西棟）

神戸小（体育館）

九重小

（校舎園舎及び体育館）



小中一貫校施設整備事業

（教育総務課）

事業費 2億445万円

財源	国	3,557万円
	県	
	市債	1億4,140万円
	他	
	市	2,748万円

房南地区小中一貫校の開設に向け、施設整備工事を行います。（平成27年度～平成28年度工事）

整備場所：（現）房南中学校

平成29年4月 開校予定

※ 総事業費：約13億円



[新規] 北条幼稚園建設事業

（教育総務課）

事業費 3億4,378万円

財源	国	2,054万円
	県	
	市債	2億9,640万円
	他	
	市	2,684万円

老朽化及び園児の安全対策のため、北条幼稚園新園舎建設工事を行います。

（平成27年度～平成28年度工事）

整備場所：市民センター跡地

平成28年9月 開園予定

※ 総事業費：約11億円



学校給食センター施設整備事業

（給食センター）

事業費 2,916万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	2,916万円

老朽化の著しい現在の学校給食センター建替えのため、施設の実設計業務を行います。

[工事概要]

平成26年度 基本設計

平成27年度～平成28年度 実施設計

平成28年度以降 工事着手予定





社会教育・
スポーツ編

小谷家住宅保存活用支援事業 (生涯学習課)

事業費 1,105万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	620万円
	市	485万円

小谷家当主が実施する、館山市指定有形文化財「小谷家住宅」の保存修理事業に対し、補助を行います。

[事業期間]
平成26年度～
平成27年度



[新規] 後藤義光生誕200年記念事業補助金 (生涯学習課)

事業費 50万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	50万円

市民有志による実行委員会が実施する「後藤利兵衛橋義光生誕200年祭」に対し、支援を行います。

開催日：平成27年5月5日
開催場所：鶴谷八幡宮境内
総事業費：272万円



館山若潮マラソン大会事業 (スポーツ課)

事業費 4,505万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	4,505万円
	市	

市民の健康・体づくりやスポーツ観光による地域経済活性化を図るため、「第36回館山若潮マラソン大会」を開催します。

開催日：
平成28年1月31日



[新規] 東京オリンピック・パラリンピック等スポーツ観光推進事業 (スポーツ課)

事業費 259万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	259万円

東京オリンピック・パラリンピックに向け、推進本部の立上げや事前キャンプ誘致のための情報発信、関連団体との連携強化を図ります。



『 経済活性化によるまちづくり 』 のため



地域おこし協力隊事業 (農水産課・商工観光課)

事業費	1,298万円
-----	---------

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	1,298万円

地域活性化のため、都市部など地域外の人材を活用し、農業部門などの地域活動に従事することにより、地域力の維持・強化を図ります。

平成27年度委嘱 3名
(継続2名 新規1名)
農業関係2名 商業関係1

有害鳥獣対策事業 (農水産課)

事業費	909万円
-----	-------

財源	国	
	県	404万円
	市債	
	他	
	市	505万円

鳥獣による農作物の被害を抑えるため、鳥獣の捕獲事業及び防護柵の設置について支援を行います。

[主な内容]

- ・ イノシシ捕獲の報奨制度
- ・ わな免許取得の費用支援
- ・ 防護柵設置に係る補助 など

「食のまちづくり」推進事業 (農水産課)

事業費	537万円
-----	-------

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	537万円

公設卸売市場用地(跡地:稲地区)を、「食のまちづくり」の拠点施設とするため、施設設備の基本・実施設計を行います。

また、「食」拠点施設の機運醸成のため、軽トラ市などの地産地消イベントを行います。

多面的機能支払交付金 (農水産課)

事業費	3,170万円
-----	---------

財源	国	
	県	2,378万円
	市債	
	他	
	市	792万円

農村環境の保全・向上を図るため、地域ぐるみで農地等の資源を守る共同活動の取り組みを行う集落(組織)に対する支援を行います。

対象:市内14地区

稚貝放流事業補助金

(農水産課)

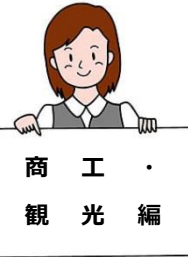
事業費 300万円

財源	国	
	県	75万円
	市債	
	他	
	市	225万円

市内5漁業協同組合が実施する磯根資源(さざえ・あわび)の保護・繁殖のための稚貝放流事業に対し補助を行い、沿岸漁業の振興を図ります。



補助率：事業費の1/2



中小企業融資事業

(商工観光課)

事業費 8,203万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	6,860万円
	市	1,343万円

館山市中小企業融資などの借入れを行った中小企業者に対して、保証料及び利子の一部を補給し、中小企業の振興を図ります。

[主な内容]

- ・ 中小企業融資利子補給金
- ・ 中小企業融資保証料補給金



観光振興事業

(商工観光課)

事業費 1,678万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	1,015万円
	市	663万円

観光客の受入体制強化、着地型旅行などの推進を図るため、民間団体などが行う観光振興に資する事業を支援します。



[主な内容]

- ・ 館山市観光協会への補助 385万円
- ・ 館山市温泉事業組合への補助 330万円
- ・ 民間団体への観光振興支援補助 300万円 外

観光イベント事業

(商工観光課)

事業費 1,367万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	15万円
	市	1,352万円

観光イベントによる地域活性化を図るため、各種イベントの実施や経費の補助を行います。

[主な内容]

- ・ 館山観光まつり(花火大会等) 675万円
- ・ 南総里見まつり 500万円
- ・ たてやま海まちフェスタ 75万円 外

客船等歓迎行事委託料 (プロモーションみなと課)

事業費 332万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	10万円
	市	322万円

館山夕日栈橋及び館山湾の利活用推進による地域経済活性化のため、客船等の誘致活動や受入環境の整備を行います。



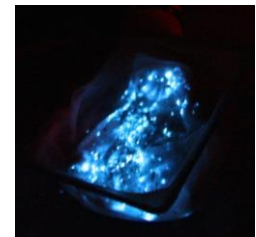
ウミホテル観察会事業 (プロモーションみなと課)

事業費 41万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	41万円

市の重要な観光資源の一つであるウミホテルを活用し、館山湾の自然・魅力をPRするため、ウミホテル観察会を行います。

開催：7～9月予定



雇用・
経済対策編

起業支援補助金 (商工観光課)

事業費 200万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	200万円

市内において起業する個人や法人の中小企業者に対し、事業を起こすために要する経費の一部に補助を行い、市内産業の振興を図ります。

(補助率 1/2)

- ・ 開設経費補助 上限50万円
- ・ 事務所賃借経費補助
上限5万円/月×12カ月



[新規] 企業誘致推進事業 (商工観光課)

事業費 1,277万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	1,277万円

館山市条例に基づき、市内への新規進出企業に対する支援を行い、市内経済の発展・雇用の場の確保を図ります。

- ① 企業立地奨励金
 - ※ 新設・増設にかかる固定資産税等相当額の補助
- ② 雇用促進奨励金
 - ※ 新規常用雇用に対する補助



住宅リフォーム補助事業 (都市計画課)

事業費 2,000万円

財源	国	1,000万円
	県	
	市債	
	他	
	市	1,000万円

住環境の充実、耐震化の推進及び地域経済活性化を図るためリフォーム補助事業を行います。

補助額：対象工事費の10%
限度額：20万円



プレミアム商品券発行支援事業補助金 (商工観光課) ※平成27年2月補正予算対応分

事業費 7,800万円

財源	国	5,109万円
	県	2,456万円
	市債	
	他	
	市	235万円

市内消費者の購買意欲を喚起し、地域経済活性化を図るため、館山市商業協同組合が実施するプレミアム商品券発行事業に対し支援を行います。

発行総額：3億6千万円分
※ プレミアム率20%
※ 平成27年7月発行予定



[新規] 観光振興商品券発行支援事業補助金 (商工観光課) ※平成27年2月補正予算対応分

事業費 3,200万円

財源	国	2,954万円
	県	
	市債	
	他	
	市	246万円

域外からの消費喚起による地域経済活性化を図るため、館山市観光協会加盟宿泊施設への宿泊者に対し、市内限定商品券を配布します。

発行総額：2千万円分
※ 宿泊代金の20%相当分
※ 平成27年8月発行予定



『 財政の安定と健全化 』 のため



行 財 政
改 革 編

[新規] 地方公会計整備事業 (行革財政課)

事業費	290万円
-----	-------

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	290万円

市が所有する資産について、統一的基準に基づく評価による固定資産台帳の整備を行い、平成29年度までに複式簿記による財務書類を導入し、今後の財政運営の指標として活用を図ります。

徴収対策事業 (納税課)

事業費	478万円
-----	-------

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	478万円

納税者の利便性向上と徴収率の向上を図るため、コンビニエンスストア収納に加え、市税・各種保険料のクレジットカード収納を開始します。

(クレジットカード収納)
平成27年4月～ 開始

[新規] ふるさと納税(クレジット納付)事務 (企画課)

事業費	10万円
-----	------

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	10万円

ふるさと納税における寄附環境向上のため、クレジットカードによる代理納付システムの導入を図ります。

お礼の品

そ の 他

[新規] 第三者委員会運営事業 (総務課)

事業費 524万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	524万円

平成20年に市立中学校生徒が自死したことについて、その全容を明らかにし、再発防止を図るため、第三者委員会による調査・審議を行います。

委員会開催 月2回(予定)

[新規] 市庁舎(本館)エレベーター設置事業 (管財契約課)

事業費 5,500万円

財源	国	
	県	
	市債	4,120万円
	他	
	市	1,380万円

市庁舎本館のバリアフリー化のため、庁舎内にエレベーターを設置します。

(乗車定員11名・車いす対応)



総合計画策定事業 (企画課)

事業費 717万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	717万円

市の最上位計画である、基本構想・基本計画について、平成27年度に現在の計画が満了となるため、平成28年度～平成37年度を計画期間とする、新たな基本構想・基本計画を策定します。

(策定期間)

平成26年度～平成27年度



地方創生に対する取組み

地方創生とは

国の人口減少問題への対策として、日本が活力を維持するため「地方が元気を取り戻すこと」を最優先課題とする政策です。

それぞれの自治体が自ら考え、自らの手で地域特性に合致した取組みを行うことを求めるものです。

館山市の取組

国における地方創生の理念に基づき、平成27～31年度を実施期間とする『館山版総合戦略』を平成27年度に策定します。

現在策定作業中の『第4次館山市総合計画』と合わせて、審議会委員の方々や市民の皆さまからの意見を踏まえて実効性のある計画を策定していきます。

今後の地方創生に向けた取組みを加速させるため、平成27年3月に国から 5,057万円 の交付金が配分されました。

同交付金を活用して平成27年度に行う主な取組みを紹介します。



移住・定住促進事業 964万円

首都圏での移住相談会の実施、移住者向け住宅リフォーム補助制度の創設などにより、人口減少対策及び地域活力の向上を図ります。



インバウンド（※）推進事業 400万円

訪日外国人誘致のため、モニターツアーの実施や公衆無線LAN整備を行います。

※ 外国人旅行者を誘致する意味



【重点実施項目】

- 人口減少対策
- 地域の魅力向上
- 地域「人」づくり

子育て支援事業 1,635万円

子育て世帯向け住宅リフォーム補助制度の創設やファミリーサポート事業の充実などにより、子育て環境の改善を図ります。



教育環境ICT化事業

4,000万円

次世代を担う「人」づくりのため、電子黒板などの教育支援機材の充実を図ります。



地域資源を活用した観光振興事業

1,559万円

貴重な観光資源である「沖ノ島」の環境改善や自転車競技環境整備、恋人の聖地プロジェクト事業などにより、地域の魅力向上を図ります。



食のまちづくり推進事業 500万円

地元農水産物を活用した、新たな加工商品の開発を行います。



最後まで読んでいただき

ありがとうございました。

今年度に、市が取り組む事業内容や税金の使われ方などが、
わかっていただけましたでしょうか？

市民の皆さまに、市の財政状況をはじめ、さまざまな行政サービスのあり方などに関心を持っていただき、率直な意見を市にお寄せ
いただくことが、行政サービスをより一層効率的・効果的なもの
に変え、住民福祉（サービス）の向上につながると考えています。

また、今回の『館山市の家計簿』で
“分かりにくかったこと” “もっと知りたいこと”
などありましたら、お気軽にご意見・ご質問をお寄せいただき、
次回以降の改善に役立てさせていただきます。

皆さまからのご意見をお待ちしています。





館山市マスコットキャラクター

© studio crocodile・館山市

本名	ダッペエ
分類	イヌ（雑種）
由来	房総の方言「～だっぺ！」が名前の由来。
口癖	「ワンワン」ではなく「ペェペェ」と吼える。 喋る時は語尾に「っぺ！」がつく。
家系	里見八犬伝の犬「八房（やつふさ）」の親戚の末裔（まつえい）の知り合いの親戚。
性格	おおらかで適当。房州育ちであれば骨が1本足りない。

オフィシャルホームページ⇒<http://dappee.com/>

館山市の家計簿

（平成27年度当初予算版）

平成27年4月作成

館山市総務部行革財政課

T E L 0470-22-3291

F A X 0470-23-3115

E-Mail gyouzai@city.tateyama.chiba.jp